



演題：自己組織化オルガノゲルの「ひも状ネットワーク構造」～分子配列場としての展開～

講師：西山 桂

島根大学教育学部 自然環境教育講座

日時：2016年8月4日（木）16:30~17:30

場所：理学部 7号館 219号室

要旨：小さな有機分子が有機溶媒中で自己組織化したオルガノゲルは、ゲル特有の物性を活かして、例えばアクチュエーターや塗布材料といった用途が期待されている。一方、ゲル中に分散させる機能分子を特定の向きに配列できるような「機能を持った場」としての役割にも注目が集まっている。我々はフェノール+界面活性剤（AOT）から合成されるオルガノゲルが、自己組織化によりひも状ネットワーク構造を作ること、及びその構造や濁度などの物性が溶媒の種類に顕著に依存することを見出した。講演ではまずゲルの基礎物性を概観したのち、ゲル中に希土類錯体を高濃度で分散し強発光体として用いた例についても議論する。

参考文献：勝部，西山，他, Langmuir 32, 4352–4360 (2016).

連絡先：理学研究院化学部門 角五彰、(内線：3474)